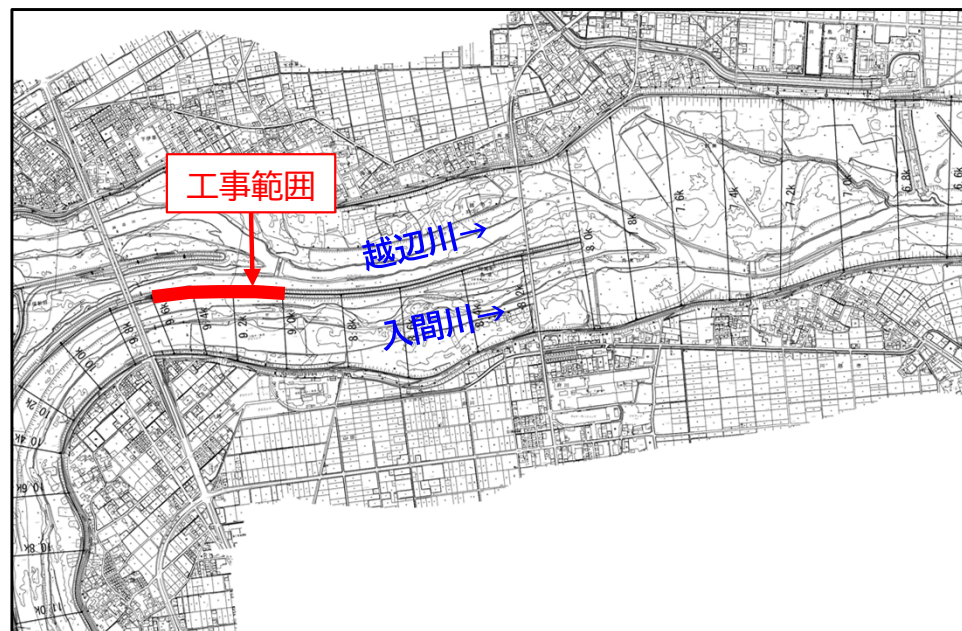


## 斜め写真

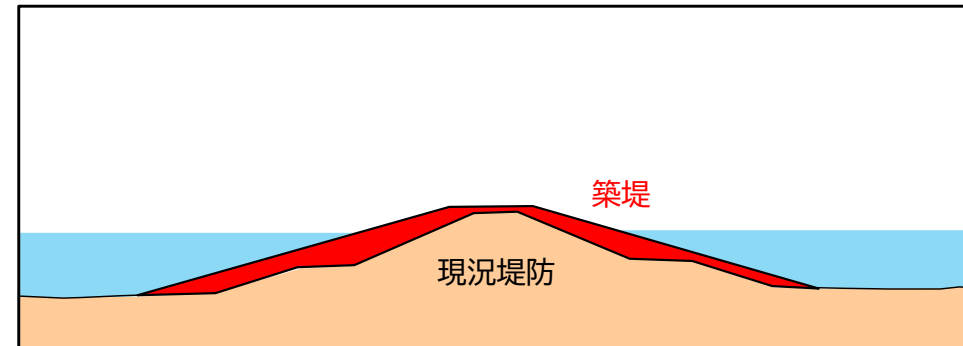


○着 手:令和2年12月  
○完 了:令和4年 5月

## 平面図



## 標準断面図

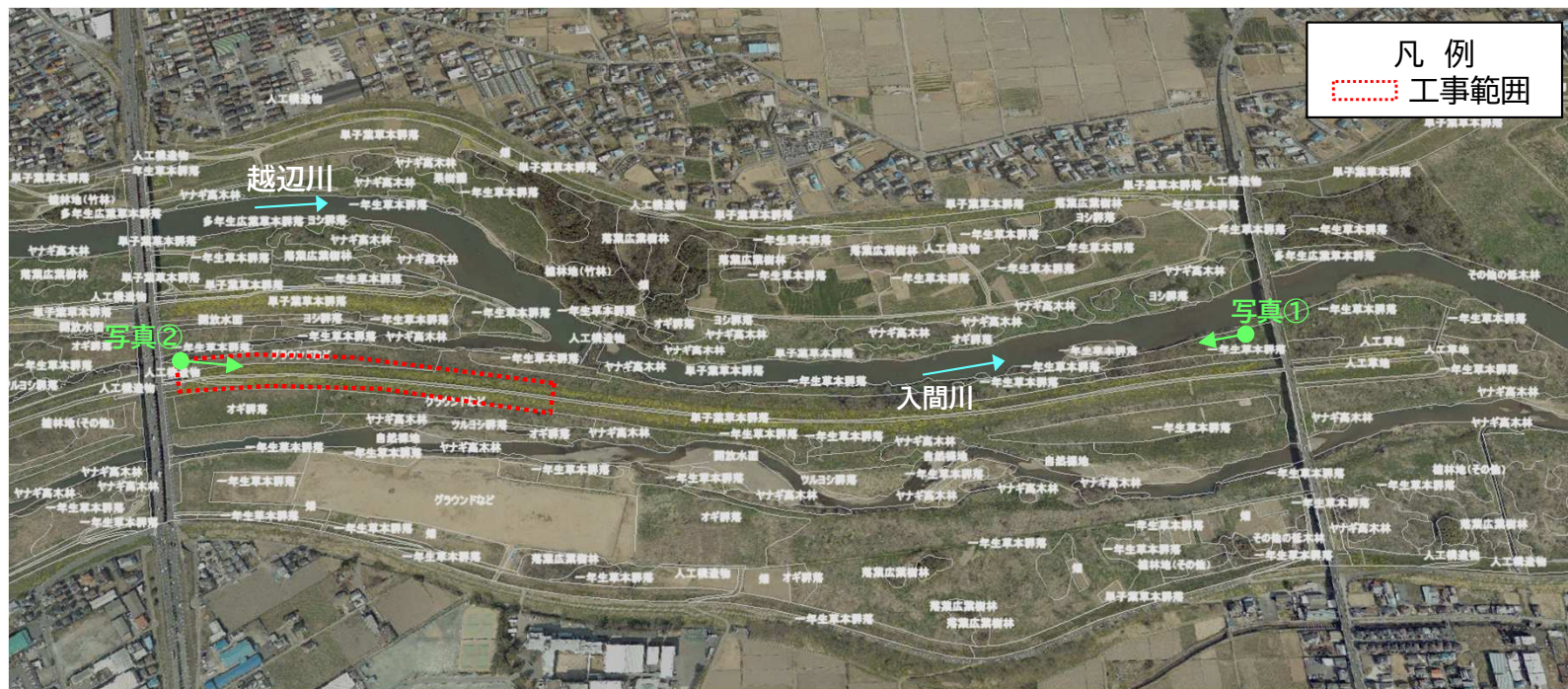


凡 例

■ 工事範囲

## 工事の目的

堤防の高さと幅が不足する区間において、堤防整備を実施します。



写真① 下流端より上流方向



写真② 上流端より下流方向

「R3 荒川上流水辺現地調査(基図)業務 報告書」の植生図データより

## 主な環境情報

- ・調査範囲内は、主に草地と堤防で構成されています。
- ・堤防の草地はセイバンモロコシ群落で構成されている。草本群落には、ゴマキ、ヤブカンゾウ、ヤガミスゲ、ミコシガヤなどの在来種やカラシナなどが生育するほか、ニホンカナヘビ、アオダイショウなどの小動物、ウグイス、ホオジロなどや重要種(鳥類)、ハグロトンボ、チョウトンボ、アオスジアゲハ、キアゲハなどの昆虫類が確認されている。
- ・堤防法面や法尻付近には、重要種(植物)が確認されています。堤防法面のやや湿った低茎草地にはオオカワヂシャが生育し、法面にはアレチウリも確認されています。

## 環境への配慮

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施します。
- ・工事施工範囲周辺で確認された重要種や在来種情報については、工事施工時に踏み荒らしなどをしないように施工業者と情報を共有します。重要種(鳥類)については、生息状況を踏まえて対応を検討します。ゴマキについては、移植を検討します。